

三原地区

保護司会だより

第11号

令和7年8月

●発行●

三原地区保護司会



【棲真寺蓮花】三原市大和町（写真提供：藤原敏明 様）

ごあいさつ

三原地区保護司会 会長 垣井良孝



平素から三原地区保護司会活動にご理解とご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

本年4月、理事会・総会で承認いただき、令和8年4月の総会までの残任期間の会長を務めさせていただくことになりました垣井良孝と申します。浅学非才な私が

会の運営が務まるかわかりませんが、一生懸命努めていきますので、ご指導ご協力くださいますようお願い申し上げます。

現在、保護司・保護司会は多くの活動が要請されています。

主には再犯防止推進法、再犯防止推進計画に基づく市町村との連携、刑の執行・保護観察終了者

への再犯防止への支援活動、改正少年法への取り組み、保護司の複数担当制への取り組みなどです。このような課題に保護司が連携して取り組みができるよう三原地区保護司会では、LINEワークス導入や“H@（はあと）”、サポートセンターの活用を進め、また、研修会や視察研修を通して保護司の連携と親睦を深めていきたいと思っています。

昭和25年に保護司法が施行され、75年になります。この間、保護司を務めてこられた先輩諸氏のご尽力に敬意を表するとともに、犯罪のない明るい社会を目指し、日々邁進していきたいと思えます。

会員の皆様におかれましては、ご理解とご参加、ご協力をくださいますようお願い申し上げます。

ごあいさつ

三原警察署 署長 梶 江 齊



三原地区保護司会の皆様におかれましては、日頃より地域の更生活動にご尽力いただき、心より御礼申し上げます。

さて、当署管内では、少年による非行が後を絶ちません。特に、無施錠の自転車やバイクを対象とした乗り物盗が多く、深夜徘徊も目立つ状況にあります。こうした行為は、一時の気の緩みや好奇心がきっかけであっても、取り返しのつかない結果を招くことがあります。昨今では「闇バイト」に手を染める少年も増加傾向です。私たち警察としても、学校や家庭との連携を強化し、未然防止と早期対応に努めているところですが、保護司の皆様による暖かく丁寧な寄り添いが、立ち直りの大きな力になっていることは間違いありません。

また、成人による犯罪においても、県下の再犯率は依然として約50パーセントと高い水準にあり、当署管内の傾向としては高齢者による再犯率

も高い傾向にあります。更生を目指す道のりは決して平坦ではなく、本人の意欲に加え、社会とのつながりや見守りの存在が不可欠です。地域に根差し、長期にわたって支援を続けておられる保護司の皆様の尽力に、改めて深く敬意を表します。

今後とも、地域の安全・安心を守るため、警察として全力を尽くしてまいります。非行や再犯の防止には、関係機関との連携が何より重要です。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、三原地区保護司会のますますの発展と皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



令和6年度 第3回 定例研修会 「事例研究」

1月30日、広島保護観察所 種田保護観察官を講師に迎えて実施しました。

提示されたどの事例もあり得る内容であり、グループ毎のロールプレイング演習後、活発な議論が行われました。最後に全体で意見交換を行い、他人への接し方や話し方について、自分の手法を振り返ることになり新たな視点を得られました。グループワークを通して、新任保護司の方や対象者を持たない方の情報共有をすることができました。



ごあいさつ

世羅警察署 署長 小田 則 雄



三原地区保護司会の皆様には、平素から、警察業務各般にわたり深いご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げますとともに、犯罪者への立ち直り支援活動、犯罪や非行のない明るい社会の実現に向けた活動

を推進されていることに心から敬意を表します。

さて、県内の犯罪情勢をみますと、平成15年1月に「『減らそう犯罪ひろしま安全なまちづくり推進条例』が施行され、県民を挙げて「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動に取り組んだ結果、刑法犯認知件数は減少傾向にありましたが、令和6年中の刑法犯認知件数は、戦後最少となった令和3年から3年連続での増加となっており、令和6年中は、窃盗犯の増加率が最も高く、特殊詐欺等の被害も高水準で推移しています。

世羅警察署管内の刑法犯認知件数は、皆様の御協力もあり、令和6年中は、前年比22件の減少と減少傾向にあります。一方、再犯率ですが、昨年中、世羅警察署で検挙した刑法犯の再犯者率は約38.5パーセントと前年に比べ減少していますが、罪種

別に見ると、窃盗犯は再犯率が50パーセントと半数を占めており、引き続き再犯防止に取り組んでいく必要性を強く感じているところであります。

今後は、インターネット社会の更なる拡大に伴い、SNSにより繋がりを持った「匿名・流動型犯罪グループ」による犯罪、あるいは、SNS型投資詐欺やSNS型ロマンス詐欺といった現在猛威を振っている犯罪手口のさらなる拡大が懸念されています。また、先に述べたとおり、高水準の再犯率が地域社会の安全・安心を脅かす一因になっています。

このような厳しい犯罪情勢下、犯罪のない明るい社会の実現には、犯罪や非行をした人の立ち直り支援活動により、再犯率を減少させることが必要であり、そのためには、保護司の皆様や更生保護施設をはじめ、ボランティアの方々の活動が極めて重要であると考えています。

警察といたしましても、犯罪の取り締まりをはじめ、地域住民の方々や自治体等の関係機関・団体と連携した取組をより一層推進してまいりますので、引き続き連携・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

結びに、三原地区保護司会の皆様のますますのご健勝とご多幸を心から祈念いたします。

SST研修 「面接の基本・SSTの技法」

2月1日、(更)日本更生保護協会並びに(更)全国保護司連盟の助成による保護司会を対象としたSST研修を行いました。

SST普及協会認定講師の野口卓也先生と西山圭一先生より、SSTの理論的背景から様々な技法について講義を受けた後、事例をもとにロールプレイング演習を行いました。

この研修で学んだ内容を、対象者との面接場面におけるコミュニケーションツールとして役立てるとともに、会員同士の相互交流も深める事が出来ました。



令和7年度 三原地区保護司会総会

4月25日、三原市中央公民館中講堂を会場に、令和7年度三原地区保護司会総会を開催しました。開式行事として、来賓の方々より祝辞と激励のお言葉をいただきました。議長のスムーズな進行により、予定したすべての議案が可決承認されました。



古賀 正明
広島保護観察所長



岡田 吉弘
三原市長



奥田 正和
世羅町長



梶江 斉
三原警察署長



小田 則雄
世羅警察署長

令和7年度 役員

相談役	奥田 正和	桑木 良典	伊藤 英治
顧問	大龍 昭順	加村 博志	

会長	垣井 良孝		
副会長	是山 宗憲	浅田 勝彦	分野 達見
理事	有田 英子	藤井 迎朋	川中 真吾
	吉田 なよ子	雲地 和典	橋澤 浩二
	栗原 文夫	宇田 治徳	石川 弥生
監事	平田 耕三	大畦 益司	田原 賢司

来賓紹介

三原地区更生保護女性会会長
三原地区協力雇用主会会長

小川 敬子 様
坂元 亨 様

本年度重点項目

- 1 会員の処遇能力の向上
- 2 ICT化の推進
- 3 関連団体との交流の推進
- 4 薬物乱用防止活動の推進



杜明街頭広報



第75回 社会を明るくする運動

三原市推進大会

7月5日 三原リージョンプラザ

7月5日、三原リージョンプラザにおいて、第75回“社会を明るくする運動”三原市推進大会が開催されました。石破首相のメッセージ放映、メッセージ伝達等の式典後、三原市ふるさと大使の日向ひまわりさんより「寄席演芸『講談に描かれる人の繋がり』」と題して講演・講談をして頂きました。

最後に更生保護女性会の皆さんと「ひまわりの譜」を合唱して、盛況に終わることができました。

会場入り口で広島刑務所 尾道刑務支所による作業製品の展示即売会も行われました。



メッセージ伝達



講演・講談 日向ひまわりさん



「ひまわりの譜」合唱



作業製品 展示即売会



世羅町広報活動

内閣総理大臣メッセージ伝達

7月9日、奥田町長に内閣総理大臣メッセージの伝達を行いました。



街頭活動

6月30日、道の駅世羅とマックスバリュ世羅店で更生保護女性会の皆さんと更生保護のチラシや販促物を配布しました。



本郷ブロック 広報活動

7月26日、本郷支所広場を会場に「沼田本郷夏まつり」のイベント内で更生保護のPRを行いました。



保護司退任のご挨拶



三原5ブロック

高橋 一 昭

平成3年3月保護司の任を受け、以来34年間今日まで無事に保護司の仕事をしていただきました。思い起こせば在任中様々な方々と交流させて頂きました。自分自身にとって良いご縁もあれば、良くないご縁もありました。しかし、どのご縁も私にとっては

大変有意義なことであり、大変有り難いことでもありました。私の信念として、たとえ犯罪を犯した人であっても常に対等な立場で対峙し、一般の人と同じ目線で対応することを心がけておりました。保護司という立場上、つい上から目線で相手を見下す場合がありますが、たとえ相手はかなり年下であっても同じ立場で話すよう心がけておりました。又、大切なことを気づかせてもらったことも多々ありました。だからこそ、相対する人を常に大切にすることが、私にとって大事なことでありました。

結びにあたり、お世話になった多くの方々に感謝し、退任のご挨拶とさせていただきます。

保護司活動を振り返って



世羅ブロック

白雲 勝 幸

前任保護司の推薦を受け、何の知識もなく不安のまま、平成11年6月1日付で拝命し、20数年が過ぎ去っていました。最初に担当した時、文書に秘匿と書かれていました。取り扱いのよく解らないまま、広島保護観察所担当官、そして前任保護司さんに相談しながら対応したのを思い出します。最初は素直な対応をしていていましたが、そのうち面接もできない

状態が続き、最後は行方不明となり残念な終了をむかえてしまいました。中には良い思い出もあります。少年Aを担当したとき、その少年の家族と深い関わりを持つことが心痛でしたが、一年で良好解除となり、今は社会人として働く姿が頼もしく見えます。長い間のボランティア活動で、社会を明るくする運動・年数回の研修に参加して研鑽を重ねてきました。他の保護司さんのように複数の担当を持つことはありませんでしたが、先生方のご苦労はよく解ります。自己を律することを心がけてきましたが、十分な更生の手助けが出来たかは、不安の残るところです。

最後に三原地区保護司の皆様には大変お世話になりました。お身体に気を付けられご活躍くださいませ。

退任にあたり



三原4ブロック

新元 昭

平成23年6月に任命された保護司を、令和7年5月末を持ちまして満齢退任させていただきました。在任中は皆様には大変お世話になりまして、ありがとうございました。任期中での対象者を担当したのは1件のみでしたが、定例研修での多くの凡例事案や講義などについての活用や

お返しする機会はあまりなかったのではとの思いもありますが、振り返ってみれば多くの知り合いになれた方々をはじめその内容は私自身にとって大きな糧となっていたものと改めて思っております。心より感謝申し上げます。今日の世相では当然のことながらも個が尊重され、多様性が尊重され、加えてAIやデジタル化が進む中で何事も複雑化してきており、保護司活動にも様々な問題も散見されております。

皆様にはこれらの問題を乗り越え、ますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げますとともに、今後とも三原地区保護司会のますますの発展をお祈り申し上げます。

退任者紹介

長い間たいへんお世話になりました。
心よりお礼申し上げます。

令和7年3月31日付

井上 晋弥 さん (世羅ブロック)

藤田 宗広 さん (三原5ブロック)

令和7年5月31日付

天野 誠 さん (三原4ブロック)

石本 泰史 さん (三原4ブロック)

井本 司夫 さん (三原2ブロック)

植田 初子 さん (三原1ブロック)

野々部芳樹 さん (久井ブロック)

播摩 英雄 さん (三原5ブロック)

深水 純昭 さん (本郷ブロック)

宗利 静江 さん (三原3ブロック)

新任保護司の紹介

令和7年6月1日付けで、新たに会員としてお迎えしました。



河野 英紀 さん
(久井ブロック)



下村 拓滋 さん
(三原2ブロック)



5月31日
新任保護司研修

令和7年度 第1回 定例研修会 「持続可能な保護司制度のための取り組み」

4月25日、広島保護観察所種田保護観察官から講義を受けました。

保護司の担い手確保のため、登用要件の年齢制限を緩和し、定数を保つことや身の危険を感じることなく「やりがい」をもって全うできる法整備がなされていることなど解説がありました。

また、今年度から新たに実装された“H@ (はあと)”の機能について説明があり、報告書作成等のツールとして活用を推奨されました。



令和7年度 第1回 自主研修会 「特殊詐欺の被害対策について」

6月20日、三原警察署 生活安全課 小川友和警部補をお招きして講義を受けました。

県内や市内の特殊詐欺の実態や被害状況、それを予防するための方策を学びました。被害件数の増加や手口の巧妙さに驚き、どうすればよいかを考える機会となりました。また、参加者から自分が体験した詐欺事例や、未然に阻止した話が出され、情報収集と分析・対策など今後役立つ良い研修となりました。



活動の記録



2/8・9「神明市」防犯パトロール



2/12 日本更生保護協会主催 オンライン講演会



2/21 薬物乱用防止教室 中之町小学校



2/25 久井中学校訪問



3/5 本郷中学校訪問



4/7 本郷中学校 あいさつ運動



6/27 本郷ブロック 更女ミニ集会



7/11 本郷中学校 あいさつ運動

三原市庁舎ライトアップ
(7月1日～6日)

編集後記

前会長 藤田宗広さんは、平成8年から28年余り保護司としてご尽力されました。保護司になられる前からBBS活動にも携われ、更生保護に関する経験知識は卓越しており、多くの保護司が対象者の対応に困った時に相談して助言をいただきました。

本地区会長に就任された平成30年当初の課題がサポートセンターの開設でした。同年7月から市民福祉会館の一室に設置し、閉館に伴い令和3年4月に港湾ビルへ移転、再開発計画に伴い令和6年5月に宮浦公園一角の元消防屯所を改築移転し現在に至ります。これらの動きに関しては三原市と協議を重ね、市や関係各位のご理解とご協力によって実現に至りました。

また、会の運営においては、毎月理事会を開催して課題を共有、保護司会だよりの発刊、会員間の連絡ツールLINEワークスの導入、HPの開設などその功績は多岐にわたり多大にあります。

長年のご功績に会員一同深く感謝申し上げます。

お問合先

三原地区更生保護サポートセンター

〒723-0051 三原市宮浦2丁目1-4 TEL・FAX **0848-62-5515**
e-mail : mihara-vpo@outlook.jp URL : <https://mihara-vpo.com>

